

# Max Planck 心肺研究所

松浦 良平

バート・ナウハイムは、フランクフルト国際空港から北のハノーファーに向かって車を走らせると、アウトバーンで約30分程度の場所にある街です。フランクフルトの高層ビル群から離れていくと、アウトバーンはすぐに森の中に入り、風景は一変します。いくつかの森林をくぐり抜けると、なだらかな丘に一面に広がる小麦畑を眼下に眺めます。アウトバーンを降り、田園地帯から街路をゆっくり通り抜けると、バート・ナウハイムの中心地である駅と町のシンボルである噴水に目が入ります。

バート・ナウハイムは古代から製塩所が稼働した記録と遺産があり、近代から温泉が湧き出ることから保養所として発展し、そのため心臓・循環器病患者のための湯治場となりました。

バート・ナウハイムは、冬の厳しい寒ささえ乗り越えれば非常に住みやすい街です。保養所である性質から、第一次・第二次世界大戦でも大きな被害を受けることなく切り抜け、自然に溢れた広い公園や池が古くから整備されており、昔米軍の駐留地としてエルビス・プレスリーが滞在した町として非常に魅力的な街となっております。

バート・ナウハイムには、ドイツを代表する研究機関であるMax Planck研究所や、隣接するKerckhoff-Klinikなどの多くの治療施設も存在し、医学を中心と



写真1 Max-Planck心肺研究所とKerckhoff-Klinikの間にある公園  
(住民のウォーキングや憩いの場として親しまれています)

した学術活動も盛んな街です。Kerckhoff-Klinikは年間手術件数がヘッセン州では最多である3,000件程度の大規模な施設で、Schoenburg教授のもと、一般心臓外科手術から経カテーテルの大動脈弁置換術まで、積極的に手術が行われています。

またMax-Planck心肺研究所は、ドイツ国内外に多数あるMax Planck研究所の中でも心肺に特化した施設で、世界各国から優秀な研究者が集まり、非常に充実した環境が整っています。

Max Planck研究所は、ドイツの物理学者で量子力学の父と呼ばれているノーベル賞受賞者のMax Planckに由来しています(日本では $e=hf$ の公式で知られるプランク定数の由来で知られています)。Max-Planck研究所は医学分野のみならず、物理・化学・工学分野から精神科学・社会学・人間科学分野まで幅広く取り組んでおり、数多くのノーベル賞受賞者を輩出

## Ryohei Matsuura

Max-Planck-Institute for Heart and Lung Research  
Laboratory for Cell Polarity and Organogenesis  
Parkstrasse 1, D-61231 Bad Nauheim, Germany  
TEL.: +49(0)6032-705 248  
FAX: +49(0)6032-705 211  
E-mail: ryohei.matsuura@mpi-bn.mpg.de